



緩和ケア

専従 野田 陽子

緩和ケアは「つらさ」が生じた時から始まるケアです。
『がんと診断されて間もない時期』『治療中』『経過観察中』など
時期を問わず「つらさを人に伝えること」が第一歩となります。

たとえばこんなとき・・・

- 気持ちの落ち込みが続いている
- 身体がだるくてつらい
- 家族・職場・友人などに迷惑をかけていると思うと申し訳ない
- 自分らしさが揺らいでつらい
- 眠れなくてつらい
- これからどうやって過ごせばいいのか不安
- 治療をしながらの生活や仕事のことを考えると不安
- 自分だけこんな気持ちになるのかな？
- 他の人はどうやって乗り越えているの？

・・・など

少しでも「つらさ」が和らいで日々の生活を送れる
ようにお手伝いしていきたいと考えています。

まずは、お気軽に相談ください！

